



2016年3月1日

# 事務所ニュース Vol.208

## マイナンバーの管理方法の比較

前号ではマイナンバーを使用する手続き等について取り上げましたが、現時点ではマイナンバーを使用する機会が少ないため、収集後、保管だけをしている状況という事業所様もおられると思います。しかし、平成 29 年 1 月からは本格的に運用が開始される予定で、社会保険制度においては各種届出に、税制度においては源泉徴収票にマイナンバーの記載が求められることとなり、今から管理方法を準備・確立しておくことが重要です。今号では、その保管や管理の方法について、考えられる方法をご案内致します。

### 管理方法による比較表

#### パソコンで管理する【専用ソフト（スタンドアロン型）の導入】

メリット	デメリット
◎使用・廃棄・履歴管理等が容易にできる	△収集は独自に行う必要がある
○データ取込などで他システムとの連携も可能	×初期費用が掛かる
◎ID 管理で使用者を限定できる	×PC の不調によるデータ消失の危険性がある
○自社内で完結する為、漏えいのリスクが少ない	

#### クラウドシステムで管理する

メリット	デメリット
◎収集、使用、廃棄、履歴管理等が容易にできる	×初期費用と運転費用が掛かる
○他システムとの連携も可能	×データの保管場所が社外の為、漏えいのリスクが少なからず残る
◎ID 管理で使用者を限定できる	
○データ消失の危険性が少ない	

#### 自社で管理する【紙媒体又は表計算ソフトのデータを USB メモリ等に保存して管理】

メリット	デメリット
◎初期費用が安価若しくは不要	×収集・使用・廃棄・履歴管理等が煩雑
○自社内で完結する為、漏えいのリスクが少ない	×他システムとの連携が困難若しくは不可能
	×使用者の管理を厳密に行う必要がある
	×PC の不調や災害によるデータ消失の危険性がある

各管理方法を比較するにあたり、重要視すべきことは、登録・使用・廃棄・履歴管理等の事務処理、初期費用や運転費用のコスト面および不正防止のための使用者（ID）管理の三つだと考えます。

事務処理は登録から廃棄までの履歴管理が最も煩わしく、手間暇がかかります。専用ソフトやクラウドシステムの導入は事務処理の煩雑さを解決できます。

コストも安価または掛からないに越したことはないと思いますが、どの管理方法を使用したとしても、ガイドラインに沿った安全管理措置（組織的・人的・物理的・技術的）を講じる必要がありますので、少なからず発生します。

使用者管理は社外からはもちろんのこと、社内の不正防止に欠かせない事項です。専用ソフトやクラウドシステムの導入はパスワードの管理は必要ですが、使用者を容易に限定することができます。

## 管理方法の選択

最終的な管理方法の選択は、事業所様の規模や在籍する人数等により判断することになります。支店等が複数あり従業員が多数いる事業所様であれば、コスト面を犠牲にしても、クラウドシステムでの管理が事務処理の効率が良くなり、時間を有効に使えます。社長と従業員数名という事業所様であれば、安全管理措置を講じれば、紙媒体での管理の方がコスト面で効率が良くなります。

最後に、もう一つの方法としてクラウドシステムと紙媒体を併用する方法も考えられます。収集は紙媒体（又は代行サービス）で行い、クラウドシステムに登録、紙媒体は厳重に保管又は破棄し、使用・廃棄・履歴管理等はシステムで行う形です。

当事務所が提供している「マイナ de 社労夢 CL」は初期費用 30,000 円がかかりますが、月額 1,500 円～（使用人数 30 人まで、以後人数により変動）とリーズナブルにクラウドシステムが使用できる為、コスト面が気になる事業所様にお勧めしております。パンフレットをご用意しておりますので、興味のある事業主様は一度ご連絡下さい。

## ○当事務所からのお知らせ

- ・全国健康保険協会管掌健康保険の **3月からの健康保険料率に変更されます。**

大阪支部・兵庫支部・京都支部の保険料率は以下のとおりです。介護保険料率は全国一律 **1.58%**のまま変更ありません。

<大阪支部>健康保険料率	<b>10.07%</b>	介護保険込み健康保険料率	<b>11.65%</b>
<兵庫支部>健康保険料率	<b>10.07%</b>	介護保険込み健康保険料率	<b>11.65%</b>
<京都支部>健康保険料率	<b>10.00%</b>	介護保険込み健康保険料率	<b>11.58%</b>

なお、健康保険組合に加入されている事業所様の健康保険料率および介護保険料率は、それぞれの健康保険組合によって異なりますので、別途ご確認をお願いします。

**保険料一覧表をご希望の事業所様は別途作成いたしますので、ご連絡下さい。**

## 後記

昨年よりプライバシーマークの付与を目指し、個人情報保護体制の構築に取り組み、先月、認証を受けることが出来ました。皆様の大切な情報をお預かりしている立場として、安心してお任せ頂けるよう、個人情報の保護に取り組んで参ります。今後ともお引き立て賜われます様、お願い申し上げます。(T)

